

Y I A 会員だより 2023年11月号



発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第227号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>

【11月以降の活動予定他】

◎国際交流バスツアー 11月19日(日)

行先：奈良(東大寺、奈良公園ほか)

参加費：3,000円 申し込み先：瀬尾、三原

◎自転車で巡る吉野川市の日本遺産 11月26日(日)

集合場所と時間：文化研修センターに13:00

コース：江川遊園地跡、川島神社、阿波中央橋等

参加費：無料 申し込み先：萩森

◆浴衣・着物着付け体験

10月8日に浴衣・着物着付け体験会を実施しました。

今年も、小川和美さん、渡部真弓さんのご厚意により、打掛・羽織袴と今回はウェディングドレスまでご用意下さり豪華絢爛で会場はまるで貸衣装屋さんのような様子でした。

当日は、日本語教室受講生18名・日本語講師3名・着付け指導・支援・国際交流協会関係者8名の参加がありました。

13時半から始まる予定でしたが、早い方は13時前から来られ、ドレスに興味津々で、ドレスを次々に着替え、自分で持ってこられた髪飾でヘアメイクをしたり、写真を撮り合ったりしていました。皆さんとてもお似合いました。

時間になり、萩森副会長が用意されたくじを16名の受講生が引き、順番に自分の選んだ浴衣に着替えその上に打掛を羽織、とても素敵な装い

安部 正美



になりました。また、羽織袴に3人の方が挑戦されました。アトラクションとして渡部真弓さんが袴姿で日舞を披露されました。その後は思い思いのポーズで写真撮影をされていました。初めての体験に受講生の皆さんは大喜びでした。

今回も大盛況で本当にうれしく思いました。皆さんありがとうございました。



◆「北欧へ駆け足1人旅」

田村 実

この7月に、75歳後期高齢者の仲間入りをし、これまでとは異なる事に遭遇する中、コロナも落ち着いて来て、久しぶりに外の世界をみたいと思立った。これまでに、42カ国を訪問したが、仕事で訪れたスウェーデンを除き、今回は、Finland, Norwayの北欧とIceland, Irelandの4カ国を訪問することに。各国、2泊の駆け足旅行のため、綿密なスケジュールが必要で、結局、航空券、ホテル、レンタカー等、自身でBooking.Comにて予約。

9/17、関空から、バンコク経由でFinland, Norway-Iceland-Irelandと訪問し、アムステルダム-台北経由で、9/28帰国。最初の驚きは、Finland, Norwayのベルゲン、Icelandでは、ホテルにフロントは無く、なんとself check in、宿泊料金平均2.5万円(素泊まり)で、日本の2~3倍の価格。次は、物価の高さ。ベルゲンでは、寿司握り8巻、刺し身3切れ、味噌汁付きで4000円。酒を頼んだが、売り切れで、メニューに記載してあるということ、常時は在庫が無い

と。バーガーセット、ラーメン等も、2000円余りで、日本では1000円以下の料理に驚き。データを見ると、北欧の国々のGDP/人は、日本の2倍強、給与水準は、日本より50%程高い。VAT（付加価値税：日本の消費税）は平均25%（ドリンク等は15%）。

1人旅なので、すべて自身で考え、行動となり、最初は、見知らぬ町でなかなかハードな体験。幸い、英語のcommunicationで困ることはまったくなく、道を聞くと、自身のスマホGPSで調べ、実に丁寧に



寿司セットーベルゲンで



セルフチェックイン中

こちらから話かけて、楽しい会話になり退屈しない。フランス、イタリア、ドイツ、地元からと様々。

ダブリンでは、地元の Toastmasters Club の例会にホテルからスマホで参加し、面白い体験ができた。オンラインなので、アメリカからも3人が参加。

「Japan is so cheap now. Please come to Japan」と



中世のダブリン

教えてくれた。観光の要領としては、まず Information Center へ行き、観光情報入手、HOP ON OFF のパスを購入し、一巡した後、個別にスポットを訪れるスタイルで問題無し。ベルゲンから、オスロは、400kmを列車で7hかけ移動したが、途中、氷河観光で、隣、前の席は、降車、乗車と乗客が入れ替わる。1人旅ゆえ、

多くの方にPRをした。とにかく、日本は余りにも安い。これが、今回の最大の印象と収穫？

◆遊墨アート展で「俳句・書道」の作品展示

萩森 健治

10月20～22日に鴨島公民館で開催された「第13回遊墨アート2023」に「俳句・書道ワークショップ」に参加した皆さんによる作品が展示されました。

展示された作品

は、去る9月17日に開催した「俳句・書道ワークショップ」で、日本語教室の

外国人受講生やYIA会員などが俳句講師の上窪青樹さん、書道講師の吉野美苑さんの指導を

受けて制作したものです。竹で作った和紙に書いた俳句の作品は、きれいな色紙に張り付けられ、美的センスの高い立体的な配置で展示されていました。

この遊墨アート展は、書道家の吉野美苑さんが主催する書道愛好家グループ「遊墨会」の展覧会

です。大人や小、中、高校生のジュニアによる約100点の書、水彩画、俳句など様々な作品が展示されていました。それらの作品の中に混じって「俳句・書道ワークショップ」の作品がちりばめられ、多文化交流色豊かな展示となっていました。

